

# 「都市計画道路武庫川広田線整備事業」

令和5年6月5日協議終了

## 行為の概要

申出者	西宮市長 石井 登志郎
設計者	西宮市 市街地整備課
行為の場所	西宮市 薬師町 外
敷地面積	
施設用途	道路
建物規模	道路幅員 15.0m / 延長 325.0m
備考	

※この資料に記載の内容は、令和5年6月5日時点のものであり、その後変更となる可能性があります。

計画策定段階協議での助言概要と回答について  
 (都市計画道路武庫川広田線整備事業)

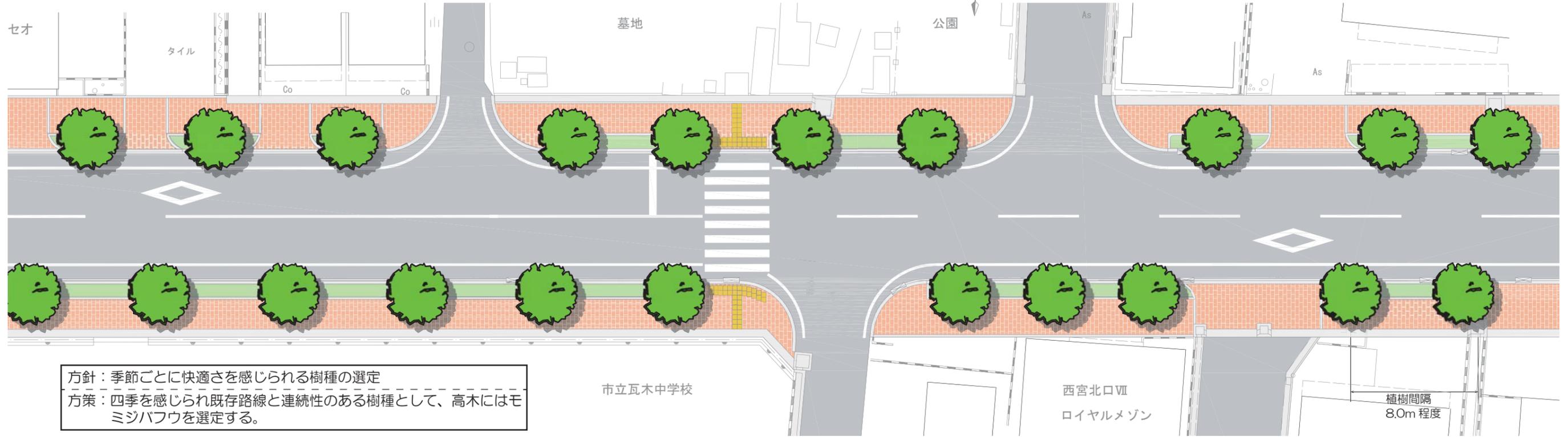
助言	回答
<p><b>【高木について】</b></p> <p>(1) 高木は以下の理由のより「モミジバフウ」が望ましい。道路のスケールに応じた樹種を選択してほしい。</p> <p>①西側の既存路線との連続性があること。          ②遠景に六甲山系を望めるため遠景への眺望を阻害しないこと。          ③モミジバフウはケヤキやサクラに比べ、根系が垂直に伸びることで根上がりしにくい。          ④ユリノキは剪定により樹勢が弱まるおそれがある。          ⑤紅葉、実がなるため、四季を感じる道路を演出できる。</p> <p><b>【低木について】</b></p> <p>(2) 高木との相性を踏まえた樹種選定をしてほしい。高木をモミジバフウとした場合、以下の理由により「ボックスウッド」が望ましい。</p> <p>①高木の樹形は荒く葉も大きいため、低木はすっきりとした葉の細かいものが望ましい。          ②アベリアは徒長枝が発生しやすく、サツキは大きく成長するので歩道を狭めるおそれがあるのに対し、ボックスウッドは成長が遅く自然樹形でもまとまりやすい。          ③落ち着いた色に紅葉し、ささやかながら花も咲くため、四季も感じられる。</p> <p>(3) 道路全体の統一性も重要だが、いくつかの樹種を混植すると変化を楽しめるため、一度検討してはどうか。</p>	<p>高木の樹種はモミジバフウとします。</p> <p>高木との相性も踏まえ、低木の樹種はボックスウッドとします。</p> <p>当該区域は異なる用途の建築物が混在する街並みであることから、単植とすることで統一感のある景観形成を図ります。</p>

計画策定段階協議での助言概要と回答について  
(都市計画道路武庫川広田線整備事業)

助 言	回 答
<p><b>【舗装材について】</b></p> <p>(4) 舗装は規則性を持たせず、他の道路との接続や補修の際に馴染みやすいランダムパターンとするのがよい。また、同様の理由で色味の強い素材は避けた方がよい。</p> <p>(5) インターロッキングブロックや縁石の形状や仕上げは道路の雰囲気に影響を与えるため、周囲のまちなみの雰囲気に適した意匠を検討してほしい。</p> <p><b>【植栽基盤について】</b></p> <p>(6) 地域の実情に応じて、適切に植栽帯、植栽基盤を確保してほしい。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>	<p>そのように計画します。</p> <p>当該事業区域が一般的な住宅地であること、及び洗出し仕様等の仕上げをすると費用が高額になり予算内に収まらないことから、標準品の地先境界ブロックで整備します。</p> <p>適切に植栽帯、植栽基盤を構築することで根上り防止を図ります。</p>

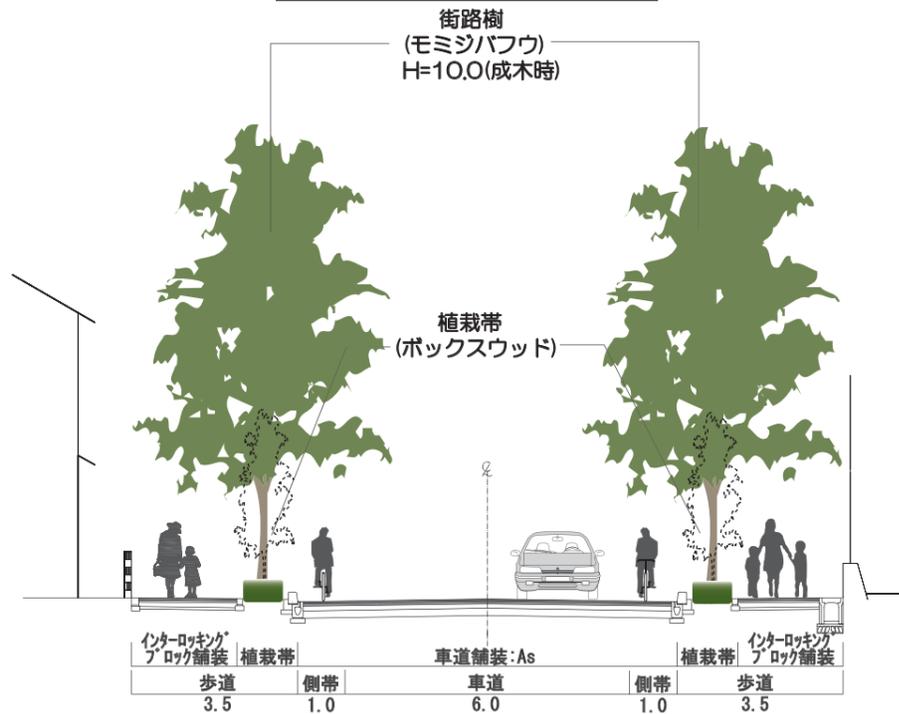
方針：樹木の列植による緑の軸の形成  
 方策：当該区域は異なる用途の建築物が混在する街並みであることから、街路樹の緑により統一感のある景観形成を図る。

計画平面図 S=1:250



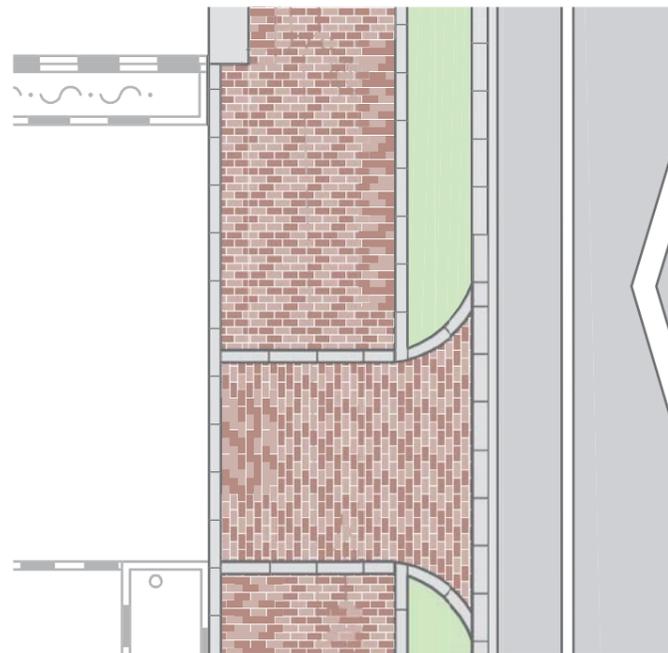
方針：季節ごとに快適さを感じられる樹種の選定  
 方策：四季を感じられ既存路線と連続性のある樹種として、高木にはモミジバフウを選定する。

断面図 S=1:150



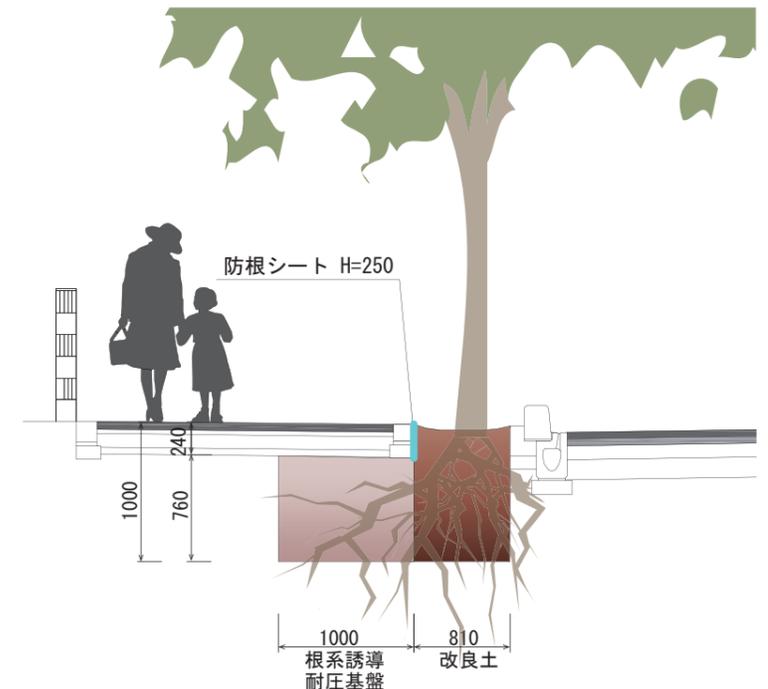
方針：連続した低木による乱横断の防止と足元の緑量の確保  
 方策：強健で葉が密になりやすく、モミジバフウと相性のよい樹種として、低木にはボックスウッドを選定する。

舗装パターン平面図



方針：落ちつきのある色合いの舗装ブロックの選定  
 方策：舗装ブロックは落ち着いた色合いのものを使用し、ランダムパターンの配色とする。

植栽基盤断面図



方針：街路樹の根上り対策による不陸のない快適な歩行空間の整備  
 方策：植栽帯に加えて根茎誘導耐圧基盤を整備することにより、街路樹の根の成長領域を確保し根上りを防止する。